

令和 8 年 第 12 回活動報告

実施日 令和 8 年 9 月 12 日 (土)

参加総数 23 名

週間予報では月曜日からずっと「曇り時々雨」で、土曜日の活動を危ぶんでいましたが、木曜あたりから「曇り」に転じました。まるで英彦山に呼ばれているかのようです。

さて、当日、7 時 40 分に別所駐車場到着。前回のような強烈な日差しこそありませんが、結構蒸し暑い朝でした。

いつもどおり受付の準備、直心庵の用具の準備などをすませると、続々と協力の方々が。新規の方も 5 名おられました。ときおり霧が流れるなかでラジオ体操です。

直心庵で装備を整えて 9 時 42 分出発。湿度のせいか今日もけっこう汗が噴き出してきます。



しかし、森はかすかに秋の装い。色づいた梢も見えます。これからはどんどん季節がよくなるでしょう。

中岳山頂 10 時 47 分。いつものことながら、初めての方も常連の方も、まるで旧知の仲であるかのように和やかな昼食風景でした。後からお一人合流され、山頂の人数は 20 名になりました。



ぬきさん

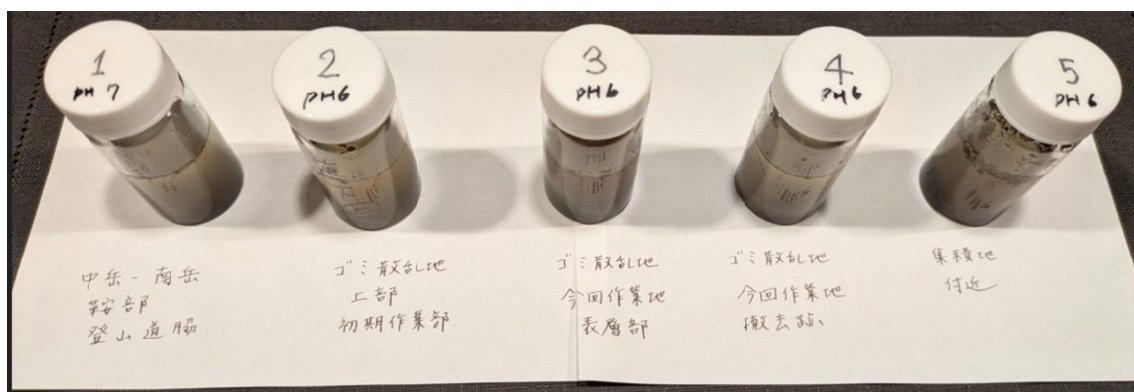
折から北九州の貫山の清掃ボランティアの方々も、「ヌッキー」とい

う、ゆるキャラ人形を背負ってPRに見えていました。何人かこのプロジェクトにご協力頂いたなじみのお顔も見えました。

現場はこのところの雨で濡れていましたが、雨は止んでいました。ブナ林は霧にかすんで、少し秋の色に染まり、えもいわれぬ美しさです。その足もとを埋める醜い大量のゴミ。なんとしても片付けるぞ！と闘志が湧いてきます。



本日は高校の化学の先生Kさんが来られて、土壌の調査をしてくださいました。というのは、前にも書きましたが、この場所からはミミズもムカデも、その他の虫も一匹も出てこないのです。その原因として錆びた鉄（酸化鉄）を疑い、素人判断で土壌が強い酸性になっているのではないかと考えていました。



本日の測定の結果からのKさんの所見です。「土壌の測定結果をお知らせします。5カ所のpH（ペーハー：水素イオン濃度）はほぼ中性とされます。ゴミ散乱地以外と差は見られないことから、ゴミによる酸性化、アルカリ性化の影響はほぼありません。長期間の放置により浄化されている可能性が高いです。鉄やアルミなど金属については別途調査

が必要です。多くのアルミ缶は腐食していないことから、アルミの影響は少ないかもしれません。鉄は赤土の成分ですので極端な量でなければ影響はないのではないのでしょうか。」

ということで、先日書いた「強烈な酸性土壌」という文言は撤回いたします。しかし、生き物がいないことは確かで、これが何によるものなのか不明です。

13 時、作業終了。リレーラインを作って仮置き場に搬送しました。今日は 78 袋でした。概算で 182kg になります。

夏場の猛暑とその後の悪天候で登山者が少なかったのか、8 月 22 日に集めた袋が 39 袋残っていました。集合写真を撮って 13 時 40 分下山を開始し、約 20 袋を別所駐車場に降ろしました。15 時 50 分までには全員が無事に下山しました。



翌日はお二人の方が分別作業を行って下さいました。13 日はときおり雨が落ちてきてつらい作業だったと思います。深く感謝申し上げます。



←つわものどもの夢の跡…ならぬ奮闘の跡です。どの手袋も真っ黒に汚れていました。

現在までの協力者延べ人数 419 人
回収したゴミの重量 4,981 k g

多くの皆様のおかげで、徐々にではありますが、美しい土地が増えています。今後ともご協力の程をお願いいたします。

この山頂美化プロジェクトの「かたち」です。

山頂に登っての空き缶やビンの回収… A

一般登山者による荷下ろしの協力… B

英彦山在住の方々による分別作業… C

添田町による回収と処分… D

この A から D の四つの歯車がスムーズに回って初めて山頂の美化が達成されます。そのどれが欠けてもプロジェクトはうまく機能しません。

それぞれに関わる人々の顔ぶれは違いますが、どの関わりも大切に貴重なものであります。

関わって下さった方々に厚く御礼申し上げます。

次回の活動は 9 月 26 日土曜日です
今後ともよろしくお願いいたします。